



6月28日から7月8日にかけて、停滞する梅雨前線の影響で、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨となりました。

この影響で全国各地で河川の氾濫、浸水害、土砂災害が無数に発生し、死者、行方不明者が多数となる未曾有の災害が生じています。



町内の主な豪雨被害

満倉地区など町内各地で床上・床下浸水が発生
 赤木川の一部が氾濫
 一本松すい道付近の国道が冠水で通行止めに
 東小山で住宅へ続く道が崩落
 小山川の堤防が決壊して氾濫

全国に甚大な被害
 平成30年7月豪雨
 町内に爪あと

「数十年に一度の大雨のおそれがあります。重大な災害に警戒し、いますぐ命を守る行動をとってください」

7月8日午前5時50分、松山地方気象台が愛南町と宇和島市に最大級の警戒を促す大雨特別警報を発表しました。愛南町でも、町内全域に避難勧告を発令し、町内16か所に避難所を開設しました。

一本松で非常に激しい雨

町内で被害の大きかった一本松地域では、8日の未明から降り始めた雨が、大雨特別警報が出された5時50分までに200mmを超えました。

満倉地区では、赤木川が氾濫し、道路の陥没や床上浸水など



①



②



③

①満倉地区では赤木川が氾濫して道路が陥没、車も押し流されました②小山川では堤防の一部が決壊し、畑が流されました③東小山川地区では、大雨で住宅に続く道が崩落し、通行できなくなりました

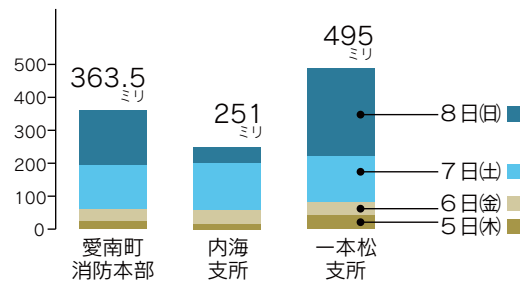


通行止めになった国道 56 号線一本松ずい道付近

96時間の町内の降水

(愛南町雨量観測システム)

一本松支所では、8日5時から6時までの1時間に64ミリの非常に激しい雨を観測しました。



愛南町では、この豪雨による人的な被害はなく、一部地域で発生した断水や通信障害は全て復旧しています(7月15日時点)。それでも土砂災害などによる農作物への被害はまだ全容がわかっておらず、被害の拡大が懸念されています。

被害の全容これから

県境の一本松ずい道付近では、土砂に堰き止められた水路から大量の水が国道に流れ込み通行止めに。約半日にわたって愛南町と宿毛市を結ぶルートが寸断されました。

の被害が発生。自宅が浸水被害にあった男性は「水はわずか5分ほどで2m近くまで上がった。かろうじて家族で2階に避難したが、水が引いた時には農機や車は全てダメになった」と振り返りました。小山川地区では、河川の堤防の一部が決壊、畑が押し流された女性は「手も足も出ない。わずか2時間で畑がなくなりました。それでも命があっただけ良かった」と語りました。



いまだからこそ、備える

今回の豪雨のようにいつ発生するか分からないのが災害です。非常持出品の準備や避難場所の確認など、いまだからこそ、もう一度災害への備えを見直してみましょう。

非常持出品の準備

- ・非常持出品はすぐ持ち出せる場所に置きましょう。
- ・食品や飲料の期限を定期的の確認しましょう。



豪雨の翌日に浸水被害の多かった満倉地区で清掃作業を行う東海小学校の児童

防災知識の習得

- ・防災訓練に参加しましょう。
- ・救命講習を受けましょう。
- ・防災知識を深めましょう。

→国土交通省
防災情報提供センター
防災知識リンク



家庭での備蓄

- ・電気やガス、水道などが止まった場合に備えて、普段から飲料水や保存の効く食料などを備蓄しておきましょう。
- ・大規模災害発生時には、「1週間分」の備蓄が望ましいとされています。

風水害に備えて

- ・雨水ますや側溝につまりがないようにしておきましょう。
- ・倒れやすいものや飛ばされやすいものは固定しましょう。
- ・土のうや排水ポンプを用意しましょう。

地震に備えて

- ・家具の転倒、落下防止対策をしましょう。
- ・ガラスに飛散防止フィルムを貼りましょう。
- ・家屋の耐震診断を受け、必要な場合は補強しましょう。
- ・家屋の周り、塀、瓦など危険な箇所がないか確認しましょう。

避難に備えて

- ・避難場所と避難経路を確認しておきましょう。
- ・連絡や安否の確認方法を家族で打ち合わせておきましょう。
- ・避難するときにはけがをしないように、しっかりした履物を用意しておきましょう。

日常を取り戻す

豪雨災害の翌日から町内では、助け合いの中で復旧活動が続けられています



湾内に流れ込んだ流木は養殖業者や漁協関係者によって撤去されました



婦人会の皆さんは、炊き出しをして被害に遭われた方を励ました



被害に遭われた方を手伝い、水路に流れ込んだ泥を取り除く男性

愛南町から発令される

避難情報を確認しましょう

災害の発生時等において、町長が「避難準備・高齢者等避難開始」、「避難勧告」または「避難指示（緊急）」を発令する場合があります。

これらの違いをよく理解し、自らの身を守りましょう。また、危険を感じる場合などは、自らの判断で早めに避難することも重要です。なお、必ずしも段階的に発令されるとは限らないので、ご注意ください。

浸水した道路に残った泥が粉塵となって舞う満倉地区

避難指示（緊急）

緊急性
強

災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった場合に発せられるもので、「避難勧告」よりも拘束力が強くなります。

住民にとっていただきたい行動

- ・避難勧告等の発令後で、避難中の人は確実な避難行動をとってください。
- ・発令された対象地域でまだ避難していない人は、ただちに避難行動に移るとともに、その行動に移る時間的余裕がない場合は生命を守る最低限の行動をお願いします。

避難勧告

緊急性
中

災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合に発せられるもので、居住者に立ち退きを勧め促します。

住民にとっていただきたい行動

- ・発令された対象地域で通常の避難行動ができる人は、計画された避難場所等への避難行動を開始してください。
- ・外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。

避難準備・高齢者等避難開始

緊急性
弱

事態の推移によっては避難勧告や避難指示（緊急）の発令を行うことが予想されるため、避難の準備を呼びかけるものです。要配慮者など、避難に時間を要する人は避難を開始する必要があります。

住民にとっていただきたい行動

- ・要配慮者など、特に避難行動に時間を必要とする人は、計画された避難場所への避難行動を開始してください。
- ・要配慮者など以外の人は、家族等の連絡、非常用持出品の用意等、避難準備を開始してください。

この度の豪雨で被災された町民の皆さまにおかれましては、心よりお見舞い申し上げます。現在、町では関係機関等と連携して全力で復旧対応に取り組んでいます。

町のホームページに今回の大雨に関する用件別の問合せ先を掲載していますので、ご参照ください。

電子メールによる防災情報の配信サービスも行っています。登録ご希望の方は、愛南町消防署までご連絡ください。

(電話72-0119)



愛南町ホームページ

県内に大きな被害

平成30年7月豪雨は、全国で200人以上の死者を出す大惨事となりました。総務省消防庁によると15日現在、16府県で約5200人が避難生活を続けています。

愛媛県でも南予を中心に河川の氾濫や土砂崩れなどが多数発生し、大きな被害がでています。被災地では猛暑の中で懸命の復旧作業が行われており、愛南町でも、宇和島市の断水地域に給水車を派遣するなど支援を継続しています。

愛媛県
平成30年7月豪雨災害に係る義援金の募集

愛媛県
平成30年7月豪雨に係る県・市町災害対応窓口

愛媛県社会福祉協議会
災害ボランティアセンター
特別サイト

